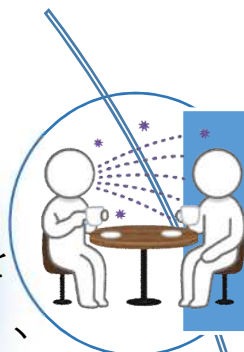


『東京都感染拡大防止ガイドライン』

～新しい日常の定着に向けて～

コロナウイルスを正しく知り、予防しましょう



感染経路

飛沫感染、接触感染



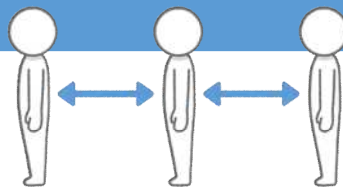
症状

発熱、のどの痛み、咳、だるさ等



予防

手洗い、消毒、咳エチケット、マスク、ソーシャルディスタンス、換気



消毒

複数の人が使用する場所（トイレ、机、いす、ドアノブ、タッチパネル、エレベーターのボタンなど）
手や口が触れるようなもの（コップなど）



東京都感染拡大防止ガイドライン
～新しい日常の定着に向けて～

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1007942/1007968.html>

葛飾区保健所





利用者向け対策

☑️ 入場時

- ・ 入場の列は間隔（できるだけ2m）を空けるとともに、行列の整理や立ち位置の表示を行い、混雑を回避する。
- ・ 非接触型機器などで入場者を検温し、発熱者は入場を制限する。
- ・ 入場口や店内各所に消毒用備品を設置し、手洗いや手指消毒を徹底する。

☑️ 施設内

- ・ 座席や利用場所を工夫し、人と人との間隔（できるだけ2m）を確保する。
- ・ 店内が混み合うようであれば、入店を制限する。
- ・ 複数の人が触れる場所を消毒する。



従業員向け対策

☑️ 体調管理

- ・ 従業員に対し、出勤前の検温や感染症が疑われる症状の有無の確認と、毎日の報告を徹底する。
- ・ 体調不良の場合は、休養を促す。

☑️ 営業中

- ・ 従業員に対して、勤務中のマスク着用を徹底させる。
- ・ 扉や窓などを開けたうえで、扇風機やサーキュレーター等を外部に向けて使用するなど、店内の定期的な換気を行う。

☑️ 休憩時

- ・ 一度に休憩する人数を減らし、対面で食事や会話を行わないよう徹底する。



施設環境設備

☑️ レジ・窓口等

- ・ 対面が想定される場所に、アクリル板やビニールカーテンなどを設置する。

☑️ トイレ

- ・ 手袋・マスク着用の上、定期的に拭き上げ消毒を行う。
- ・ ハンドドライヤーや共用タオルは中止し、できる限りペーパータオルを設置する。

☑️ ごみの廃棄

- ・ 鼻水・唾液などがついたごみは、ビニール袋に入れて密閉する。
- ・ ごみを回収する従業員は、手袋・マスクを着用する。

☑️ 清掃・消毒

- ・ 不特定多数の人が触れる場所（ドアノブ、タッチパネル、ベンチ、エレベーターのボタン等）は、こまめに清掃・消毒を行う。